

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	児童館・児童センター運営事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課			
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	熊井 彰			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	児童館・児童センターの利用者	意図	児童厚生施設として、児童に健全な遊びを与え、その健康増進や情操を豊かにすることを目的に事業を行う。
事業内容	市内7か所の児童館・児童センターにおいて、午前の乳幼児活動や午後の学童の遊び及び季節に応じたイベントを取り入れた活動を実施している。			
事業開始から現在までの状況変化	児童館は児童への健全な遊びを与え、児童の健康を増進し、または情操を豊かにすることを目的として設置されてきたが、近年は地域の子育て支援に拠点として役割を担うため、乳幼児向け事業も実施している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	年間延べ利用者数	148,451	143,594	143,528	人	↑↑↑
②	講演会開催数	3	3	3	回	↑↑↑	
③	講演会参加者数	133	122	120		↑↑↑	
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	824,257	814,530	651,830
事業費(b)(円)	824,257	814,530	651,830
うち一般財源	824,257	814,530	651,830
職員給与費(c)(円)			
人役・職員(人)			
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	引き続きおおたかの森地区及び南流山地区への移動児童館の実施し、利用者の増加を図る。	③取組における課題(Check)	転入者が増加しているおおたかの森地区及び南流山地区への児童館の設置要望が増えている。
②H30に実施した取組(Do)	移動児童館では、おおたかの森センターでの実施場所を大ホールに移し、少しでも多くの人々が利用できるよう、利用者の利便性を図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	南流山地区及びおおたかの森地区に移動児童館を実施するとともに、おおたかの森センターと連携して内容の充実を図る。